

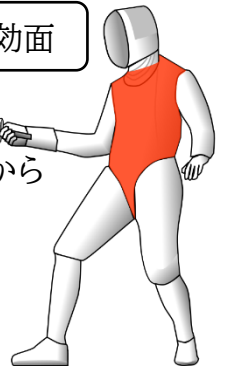
フェンシング競技【豆知識】

- フェンシングでは、2人の選手が向かい合って立ち、片手に持った剣で互いに体を突いて勝敗を決めます。攻撃(剣で相手の体に触れる)を成功させるとポイントとなり、規定のポイントを先取した選手が勝ちとなります。
- フェンシング競技の原型は、中世の騎士たち(主にフランス)による剣術にあると言われています。
- 現在、「フルーレ」、「エペ」、「サーブル」の3種目があり、2021年東京オリンピックでは、男子エペ団体において日本初の金メダルを獲得したことは記憶に新しいと思います。

1. フルーレ

- ・「突き」のみが有効なポイントとなり、攻撃権があります。
- ・フルーレでの有効面は、頭部と四肢を除いた胴体の両面です。
- ・フルーレにはフェンシングの基本技術が集約されてるので、初心者はフルーレから取り組みます。

フルーレの有効面



2. エペ

- ・攻撃権の概念がなく、同時「突き」が有効となります。
- ・エペにおける有効面は、フルーレよりも広く、全身と剣の内側が有効面となります。
- ・有効面が広いため、エペの試合は極端に防御的で慎重なものになる傾向があります。

エペの有効面



サーブルの有効面



3. サーブル

- ・攻撃権が存在し、「突き」だけでなく、「斬り」も有効となります。
- ・腰より上の上半身全てが有効面となります。

※攻撃権とは。。。

- ・フルーレとサーブルにおける「攻撃権」とは、先に攻撃した方が優先権を持つという原則のことです。
- ・攻撃権のある相手の剣を払うこと(バラード)で、攻撃権は防御側に移り、防御側は相手を攻撃することができます。
- ・例えば、一方の選手が攻撃を行い、もう一方の選手がすぐに反撃して、双方の攻撃が相手に「突き」を決めていた場合、先に攻撃した選手の攻撃が有効となります。しかし、もし攻撃された選手がその攻撃をバラードした後で反撃を行ったのであれば、この場合には反撃側に攻撃権が移ったことになり、先に攻撃した選手は防御しなければならないということになります。